

提案概要		
審査項目		株式会社 F E E L
大項目	中項目	
使用者の平等な使用を確保	平等な使用計画等	使用の受付時期、優先順位等 ・学校、子ども会、スポーツ少年団は前年6月から受付を開始し、9月の締切後に調整を行う。 ・企業やその他団体は前年10月から受付を開始し、調整を行う。
	受入事業の方針	・入所団体の使用目的を尊重し、研修目的達成を優先し5項目を柱として推進。
施設の効用を十分に発揮	管理運営の基本的方針	1. 青少年教育施設の管理についての経営理念、運営方針 ①私たちが管理運営を希望した理由と目的 ・使命感やこれまでの経験、ネットワークを駆使した社会教育や県民活動を推進していく。 ②私たちの経営理念 ・心身ともに健全な青少年育成や、青少年団体の指導者の育成を念頭に掲げた管理運営を行う。 2. 応募団体の特色・PRできる点 ・県内4の施設の指定管理実績。 ・既存の人材やスキル、ノウハウや資材の投入など。 他3点
	利用促進に向けた取り組み	1-1. 利用促進に向けた具体的・現実的な対応 ・ホームページ、フライヤー、マスコミ広報、対面営業を中心とした広報。 1-2. 多彩な媒体ツールを駆使して広報を強化 ・所内掲示板を工夫し、施設情報や自主事業情報を掲示する。 ・SNSを活用したタイムリーな情報発信を実施する。 1-3. 閑散期の対応 ・デジタルアプリを採用した新規プログラムを導入する。 2. 令和8年度から令和12年度までの施設使用者数の見込みと対策 ・令和12年度 44,500人 (地域の連携事業の拡大・海の活動の開催回数増加 など) 3. 使用者のサービス向上に向けた具体的な対応策 ・マイクロバスの運行や事前学習の実施などでサービスを向上させる。
	施設を活用した振興策	運営全般について、これまでにない新たな視点や取り組み ・4つの新アクティビティ導入や、豊富な活動資材の導入など多数提案。
	維持管理業務	維持管理業務の実施計画 ・現行の管理運営体制を継続し、衛生管理にも留意した取組を行う。
	開館日、入退所時間等	・休館日の使用希望があれば所長が認めた場合に開館し休館日を変更する。 ・利用形態や団体の諸事情に合わせ入退所持間等のフレキシブルな変更を実施。
使用者や地域住民等の意見等	使用者や地域住民等の意見等	・施設運営協議会を開催し、使用者や地域からの意見を運営に反映する。 ・苦情発生時は真摯な態度で対応し、評価と改善を行う。
	県内の同種の施設や地域との連携	・県内4施設との共催事業や連携事業、講師派遣協力、合同での研修会等、強力な連携体制が構築できており、地域との連携もさまざまな連携を実施している。

審査項目		株式会社 F E E L
大項目	中項目	
施設の管理に係る経費の縮減	維持管理経費の縮減策	効率的な人材・資材運用とワークライフバランスへの配慮 ・マルチタスク化による効率的な人件費の運用を実施している。 ・昇給等による職員評価とワークライフバランスへの配慮 ・社内での資格取得や講習会が開催でき、経費が縮減できる。 ・業界内のネットワークによる資材の安価購入が可能。 ・豊富な専門資材等の導入により、経費を縮減できる。
	利用料金額	・基準額（増減設定しない）で徴収を行う。 ・食事の価格は、来年度については令和7年度水準で運営する。
	5か年の収支計画	収入計画 ・令和8年度の収入については、令和6年度実績の5%増で計画した。
必要な人的体制及び経済的基礎	組織体制、職員の配置計画	・職員のマルチタスク化による、効率的な人財運用を実施する。 ・サポーターやボランティアも研修機会があり、スキルを向上させる。 ・使用者のニーズに応えられる職員の養成と配置を行う。
	所長及び指導職員の確保と配置等	・青少年教育経験が豊富で、かつ学校教育に理解の深い所長を配置する。 ・社会教育主事であり、学校の現状や課題を理解している所長を配置。 ・事務職員、指導職員ともに現在の職員を採用する。
	職員の指導育成及び研修体制	・一般研修と専門研修等に分けた研修を実施する。 ・環境教育や自然体験活動の指導スキルが向上する専門研修を実施する。 ・NEALやキャンプ指導者、水上アクティビティの資格取得を行う。
	施設勤務経験者の活用等	・来期も現在の職員を継続雇用するため、事業開始から円滑に業務を遂行することが可能となる。
	応募団体の財務状況	・弊社の財務状況に関して特記事項なし。
その他	個人情報保護に対する対応	・指定管理者個人情報取扱特記事項に沿って適切に管理する。 ・個人情報の収集目的を明確にし、目的外使用をしない。
	使用者の安全対策やけがをしたとき等の対応	・事故が発生した場合はその対応を最優先し職員全員で対処する。 ・医療機関の診療日、診察時間、休日当番医等の情報を入手し受診体制を整備。 ・職員はメディックファーストを受講し、全年齢に対するスキルを習得する。
	災害や事故発生時、事故時の対応	・火災発生時は、避難誘導を明確にし、混乱や二次災害を防止する。 ・事故発生時は、適切な処置を行い混乱や二次災害を防止する。 ・不審者発見時は、必要であれば警察を呼び、到着までは隔離する。
令和8年度自主事業計画書		・シーカヤック事業など7事業17回程度を計画した。 ・ニーズに合わせた内容で、各世代向けの事業を実施する。 ・施設や地域のフィールドを活用した事業を実施する。
5か年の収支計算書		・5年間で217,041千円の収入を計画した。 ・毎年の昇給により、給料や福利厚生費等が年度ごとに増額となる。